

(参 考)

平成24年3月期 第3四半期連結決算概要

平成24年2月3日
三井化学株式会社

(単位：億円)

1. 損益状況

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (2/3発表値)	増 減
	売上高	10,205	11,000	795	13,917	14,300
営業利益	269	276	7	405	250	△ 155
経常利益	244	287	43	389	230	△ 159
当期純利益	210	△ 2	△ 212	249	△ 60	△ 309
為替レート 円/US\$	87	79	△ 8	86	79	△ 7
国産ナフサ価格 円/KL	45,800	55,200	9,400	47,500	54,400	6,900

	1~3月予想
為替レート	78
国産ナフサ価格	52,000

2. セグメント別 売上高・営業利益 ・売上高

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増 減			平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (2/3発表値)	増 減
			計	数量差	価格差			
石化	3,209	3,406	197	△ 99	296	4,340	4,410	70
基礎化学品	3,142	3,742	600	57	543	4,357	4,670	313
ウレタン	1,098	977	△ 121	△ 107	△ 14	1,448	1,320	△ 128
機能樹脂	785	856	71	12	59	1,062	1,150	88
加工品	1,000	1,029	29	24	5	1,320	1,340	20
機能化学品	829	854	25	40	△ 15	1,198	1,230	32
その他	142	136	△ 6	△ 8	2	192	180	△ 12
合計	10,205	11,000	795	△ 81	876	13,917	14,300	383

・営業利益

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増 減				平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (2/3発表値)	増 減
			計	数量差	交易条件	固定費他			
石化	98	82	△ 16	△ 13	8	△ 11	128	80	△ 48
基礎化学品	123	172	49	10	45	△ 6	204	110	△ 94
ウレタン	△ 60	△ 113	△ 53	△ 30	△ 62	39	△ 90	△ 135	△ 45
機能樹脂	61	70	9	△ 5	△ 2	16	72	90	18
加工品	17	18	1	△ 2	△ 10	13	14	15	1
機能化学品	49	64	15	15	△ 10	10	100	105	5
その他	-	△ 6	△ 6	-	-	△ 6	2	△ 5	△ 7
全社費用等	△ 19	△ 11	8	-	-	8	△ 25	△ 10	15
合計	269	276	7	△ 25	△ 31	63	405	250	△ 155

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (2/3発表値)	増 減
資産売却益	4	28	24	7	45	38
退職給付引当金戻入額	146	-	△ 146	146	-	△ 146
環境対策引当金戻入額	-	22	22	-	22	22
固定資産処分・売却損	△ 20	△ 13	7	△ 29	△ 18	11
減損損失	△ 8	△ 115	△ 107	△ 22	△ 115	△ 93
関連事業損失等	△ 7	-	7	△ 10	-	10
投資有価証券評価損	△ 1	△ 10	△ 9	△ 7	△ 10	△ 3
その他	△ 10	△ 14	△ 4	△ 24	△ 14	10
合計	104	△ 102	△ 206	61	△ 90	△ 151

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H23/3末	H23/12末	増 減		H23/3末	H23/12末	増 減
流動資産	6,660	6,477	△ 183	有利子負債	4,807	4,618	△ 189
有形固定資産	4,677	4,333	△ 344	その他負債	3,838	3,624	△ 214
無形固定資産	113	117	4	自己資本	3,837	3,655	△ 182
投資等	1,506	1,464	△ 42	少数株主持分	474	494	20
資産計	12,956	12,391	△ 565	負債純資産計	12,956	12,391	△ 565

(D/E) (1.25) (1.26) (0.01)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年 3月期 業績予想 (2/3発表値)	増 減
	営業キャッシュ・フロー	404		355	△ 49	
投資キャッシュ・フロー	△ 303	△ 325	△ 22	△ 432	△ 500	△ 68
(フリーキャッシュ・フロー)	(101)	(30)	(△ 71)	(300)	-	(△ 300)
財務キャッシュ・フロー	△ 173	△ 284	△ 111	△ 201	△ 250	△ 49
その他	△ 11	△ 11	-	△ 18	-	18
現預金等増減	△ 83	△ 265	△ 182	81	△ 250	△ 331

6. 当期のトピックス

- ・ Acomon社(スイス)：プラスチックメガネレンズモノマーの製造・販売会社 買収 (平成23年4月)
- ・ 市原工場：1-ヘキセン製造プラント 営業運転開始 (平成23年4月)
- ・ 佛山三井化学ポリウレタン(中国)：ポリウレタンフォーム用原料 営業運転開始 (平成23年5月)
- ・ イハラブラス社(ブラジル)：農薬の製剤製造・販売会社 株式取得 (平成23年9月)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長

(氏名) 裾分 啓士

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,100,016	7.8	27,576	2.6	28,660	17.6	△223	—
23年3月期第3四半期	1,020,547	18.1	26,889	—	24,381	—	21,000	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △4,854百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 15,526百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△0.22	—
23年3月期第3四半期	20.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,239,057	414,924	29.5
23年3月期	1,295,627	431,101	29.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 365,484百万円 23年3月期 383,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,430,000	2.8	25,000	△38.3	23,000	△40.8	△6,000	—	△5.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	1,022,020,076 株	23年3月期	1,022,020,076 株
24年3月期3Q	20,198,978 株	23年3月期	20,097,891 株
24年3月期3Q	1,001,879,245 株	23年3月期3Q	1,002,210,859 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)平成23年11月2日に公表いたしました連結業績予想につきましては、本日(平成24年2月3日)発表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて、通期業績予想の修正を行っております。

(2)本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成24年2月3日に、機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンスを開催する予定です。説明会の音声を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日の9か月間。以下「当四半期」という。）における事業環境は、国内では東日本大震災の影響による個人消費の落ち込みが持ち直しつつあるものの、タイの洪水の影響によるサプライチェーンの分断により、生産活動が低迷したことに加え、歴史的な高水準で推移する円高、欧州の財政危機及び中国の景気減速などにより非常に厳しい状況となりました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	11,000	276	287	△2
前年同四半期	10,205	269	244	210
増減額	795	7	43	△212
増減率	7.8%	2.6%	17.6%	-

売上高は、前年同四半期に比べ795億円増（7.8%増）の11,000億円となりました。これは、ウレタン事業の主に中国での需要減速等による販売数量減少の影響が81億円あったものの、ナフサなどの原燃料価格上昇による販売価格の改定及び当年度前半において基礎化学品事業の市況改善による販売価格上昇の影響が876億円あったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ7億円増（2.6%増）の276億円となりました。これは、ウレタン事業の主に中国での需要減速による販売数量の減少及び円高に伴う交易条件の悪化があったものの、固定費の減少等の全社的なコスト削減効果などによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ43億円増（17.6%増）の287億円となりました。これは、営業利益の増加に加え、金融収支の改善及び持分法による投資利益が増加したことなどによるものです。

特別損益は、固定資産売却益23億円、環境対策引当金戻入額22億円を計上した一方、平成24年2月3日発表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、減損損失を114億円計上したことなどにより、前年同四半期に比べ206億円減の102億円の損失となりました。なお、前年同四半期は、退職給付制度の見直しに伴い、特別利益として146億円の退職給付引当金戻入額を計上しておりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ163億円減（46.7%減）の185億円となりました。

四半期純損益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ212億円減の2億円の損失となり、1株当たり四半期純損失金額は0.22円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(石化)

石化セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

エチレン及びプロピレンは、需要減退のために生産量がいずれも減少しました。

ポリエチレン及びポリプロピレンは、販売数量が減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ197億円増の3,406億円、売上高全体に占める割合は31%となりました。一方、営業利益は、国内の販売数量の減少及び固定費増加の影響を受け、前年同四半期に比べ16億円減の82億円となりました。

(基礎化学品)

基礎化学品セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

フェノールは、当年度前半においては、中国等アジア地域における堅調な需要により売上高が好調に推移したものの、昨年10月以降の急激な需要減退及び市況下落の影響を受け、減産対応を行った結果、販売数量が減少したため、全体として売上高が前年同四半期並みとなりました。

ビスフェノールAは、当年度前半においては、主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂向けを中心とする堅調な需要により売上高が好調に推移したものの、昨年10月以降の急激な需要低迷及び市況下落の影響を受け、減産対応を行った結果、販売数量が減少したため、全体として売上高が前年同四半期並みとなりました。

高純度テレフタル酸は、需要拡大による販売数量の増加及び原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が好調に推移しました。

ペット樹脂（ポリエチレン テレフタレート）は、昨年4月の帝人化成株式会社との事業統合効果が寄与し、売上高が好調に推移しました。

エチレンオキサイド及びその誘導品は、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ600億円増の3,742億円、売上高全体に占める割合は34%となりました。また、営業利益は、当年度前半までの一部製品を除く販売数量の増加及び好調な市況により、前年同四半期に比べ49億円増の172億円となりました。

（ウレタン）

ウレタンセグメントは、全体として売上高が厳しい状況となりました。

ポリウレタン材料は、鹿島工場が震災により昨年5月中旬まで生産を停止したことに加え、震災による自動車市場の需要低迷、中国の需要減退及び円高の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

コーティング材料は、国内自動車市場及び情報家電市場の需要減退の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

接着材料は、国内向け軟包装用接着剤の需要は堅調であったものの、中国等アジア地域での大型液晶テレビの需要低迷に伴い、売上高が低調に推移しました。

成形材料は、国内及び中国における工作機械及び半導体の需要は低迷したものの、震災復興に伴う建築土木関連需要により、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ121億円減の977億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業損失は、販売数量の減少と円高による輸出採算悪化の影響を受け、前年同四半期に比べ53億円増の113億円の損失となりました。

（機能樹脂）

機能樹脂セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、アジア地域を中心とする自動車及び産業材需要の伸びに的確に対応し、売上高が好調に推移しました。

機能性コンパウンド製品は、電子部品用途の需要低迷の影響を受けたものの、包装材用途の堅調な需要拡大と自動車用途の需要回復により、売上高が堅調に推移しました。

特殊ポリオレフィンは、売上高が全体としては堅調に推移したものの、年度後半からの電子情報関連用途の需要低迷の影響を受け、足元では低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ71億円増の856億円、売上高全体に占める割合は8%となりました。また、営業利益は、円高の影響は受けたものの、コスト削減等により、前年同四半期に比べ9億円増の70億円となりました。

（加工品）

加工品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

衛生材料は、中国・東南アジア地域における紙おむつの需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

半導体材料は、半導体市場における昨年7月以降の需要低迷により、売上高が厳しい状況となりました。

エネルギー材料は、太陽電池封止材市場の需要拡大により、売上高が堅調に推移しました。

包装用フィルムは、震災による前倒し需要の反動により、昨年7月以降は需要が減速したものの、値上げ効果により売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ29億円増の1,029億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業利益は、交易条件悪化の影響を受けたものの、固定費の削減により、前年同四半期に比べ1億円増の18億円となりました。

(機能化学品)

機能化学品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

ヘルスケア材料は、メガネレンズ用材料の旺盛な海外需要及び昨年4月のスイスAcomon社の買収効果が寄与したことにより、売上高が好調に推移しました。

特殊ガスは、平成21年秋の事故により生産を停止していましたが、平成22年夏に一部操業を再開したため売上高が増加した一方、**化成品**は、不採算品目整理の影響を受け売上高が減少しました。

触媒は、円高の影響により売上高が伸び悩みました。

農業化学品は、震災の影響により昨年度出荷予定の品目が今年度に繰り越されたため、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ25億円増の854億円、売上高全体に占める割合は8%となりました。また、営業利益は、一部製品の需要回復等により、前年同四半期に比べ15億円増の64億円となりました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ6億円減の136億円、売上高全体に占める割合は1%となりました。また、営業損益は、前年同四半期に比べ6億円減の6億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ565億円減の12,391億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ403億円減の8,242億円となりました。また、**有利子負債**は189億円減の4,618億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.2ポイント増の37.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ162億円減の4,149億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ0.1ポイント減の29.5%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/Eレシオ)**は、前期末に比べ0.01ポイント増の1.26となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ265億円減少し、当四半期末には546億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ49億円減の355億円となりました。前年同四半期と比べて減少したのは、税金等調整前四半期純利益の減少に加え、在庫の増加等による運転資金の増加などがあったことによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ22億円増の325億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、新たな成長戦略による子会社株式及び投資有価証券等の取得による支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ111億円増の284億円となりました。これは、有利子負債の返済が進んだことや、少数株主への配当金の支払いが増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(業績の見通し)

平成23年11月2日に公表いたしました連結通期業績予想につきましては、平成24年2月3日発表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり修正を行っております。

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期79円（1月～3月78円/\$）、国産ナフサ価格は通期54,400円/k1（1月～3月52,000円/k1）を前提としております。

この結果、下期は徹底的なコスト削減効果はあるものの、欧州の債務問題、中国での需要の減退などによる販売数量の減少、石化・基礎化学品事業等における交易条件の悪化により、営業利益及び経常利益は前回発表値から減少する見込みです。

また、当期純利益は、営業利益及び経常利益の減少に加え、「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、固定資産の減損損失の計上により、前回発表数値から減少する見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回修正予想	15,100	500	510	260
今回発表予想	14,300	250	230	△60
増減額	△800	△250	△280	△320

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高								合 計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	4,660	4,990	1,380	1,210	1,410	1,270	180	—	15,100
今回修正 予想	4,410	4,670	1,320	1,150	1,340	1,230	180	—	14,300
増減額	△250	△320	△60	△60	△70	△40	—	—	△800

(単位：億円)

	営 業 利 益								合 計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	130	240	△120	105	40	120	△5	△10	500
今回修正 予想	80	110	△135	90	15	105	△5	△10	250
増減額	△50	△130	△15	△15	△25	△15	—	—	△250

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

従来より、環境対策を目的とした支出に備えるために環境対策引当金を計上しておりましたが、相当程度の工事の進捗に伴い、より精緻な見積りが可能となったため、見積りの変更を行いました。これに伴い、第2四半期連結会計期間において、従前の見積り金額と今回の見積り金額との差額を収益として認識しました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は2,194百万円増加しております。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,219	38,603
受取手形及び売掛金	264,420	254,822
たな卸資産	239,931	265,619
繰延税金資産	4,971	4,969
未収入金	66,505	57,871
その他	9,372	26,488
貸倒引当金	△442	△712
流動資産合計	665,976	647,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	314,773	312,985
減価償却累計額	△202,502	△206,155
建物及び構築物（純額）	112,271	106,830
機械装置及び運搬具	1,025,295	1,017,422
減価償却累計額	△865,120	△878,527
機械装置及び運搬具（純額）	160,175	138,895
土地	166,431	165,794
建設仮勘定	21,005	14,284
その他	60,641	61,361
減価償却累計額	△52,788	△53,900
その他（純額）	7,853	7,461
有形固定資産合計	467,735	433,264
無形固定資産	11,293	11,678
投資その他の資産		
投資有価証券	98,973	97,064
繰延税金資産	3,436	3,565
その他	49,542	46,561
貸倒引当金	△1,328	△735
投資その他の資産合計	150,623	146,455
固定資産合計	629,651	591,397
資産合計	1,295,627	1,239,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,823	188,871
短期借入金	103,092	93,250
1年内返済予定の長期借入金	23,787	37,108
コマーシャル・ペーパー	7,400	5,800
1年内償還予定の社債	21,000	30,000
未払法人税等	4,979	2,948
役員賞与引当金	79	68
修繕引当金	11,728	7,103
資産除去債務	161	—
その他	73,249	72,242
流動負債合計	442,298	437,390
固定負債		
社債	113,000	103,000
長期借入金	211,733	192,076
繰延税金負債	12,848	11,019
退職給付引当金	54,528	53,561
役員退職慰労引当金	341	292
修繕引当金	2,324	3,174
環境対策引当金	10,650	7,581
資産除去債務	2,215	2,239
その他	14,589	13,801
固定負債合計	422,228	386,743
負債合計	864,526	824,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	201,692	195,438
自己株式	△14,254	△14,261
株主資本合計	403,556	397,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,490	7,681
繰延ヘッジ損益	120	△74
為替換算調整勘定	△31,426	△39,418
その他の包括利益累計額合計	△19,816	△31,811
少数株主持分	47,361	49,440
純資産合計	431,101	414,924
負債純資産合計	1,295,627	1,239,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	1,020,547	1,100,016
売上原価	862,528	944,653
売上総利益	158,019	155,363
販売費及び一般管理費	131,130	127,787
営業利益	26,889	27,576
営業外収益		
受取利息	110	137
受取配当金	1,491	1,807
持分法による投資利益	5,053	5,468
その他	4,052	5,557
営業外収益合計	10,706	12,969
営業外費用		
支払利息	5,816	5,326
為替差損	2,805	2,655
その他	4,593	3,904
営業外費用合計	13,214	11,885
経常利益	24,381	28,660
特別利益		
固定資産売却益	309	2,274
投資有価証券売却益	58	19
事業譲渡益	—	543
退職給付引当金戻入額	14,618	—
環境対策引当金戻入額	—	2,194
特別利益合計	14,985	5,030
特別損失		
固定資産処分損	2,006	1,177
固定資産売却損	66	134
減損損失	779	11,451
関連事業損失	701	—
投資有価証券評価損	80	1,028
災害による損失	—	1,380
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	970	—
特別損失合計	4,602	15,170
税金等調整前四半期純利益	34,764	18,520
法人税等	7,837	8,973
少数株主損益調整前四半期純利益	26,927	9,547
少数株主利益	5,927	9,770
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,000	△223

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,927	9,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,209	△3,857
繰延ヘッジ損益	64	△339
為替換算調整勘定	△8,116	△8,895
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,140	△1,310
その他の包括利益合計	△11,401	△14,401
四半期包括利益	15,526	△4,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,305	△12,218
少数株主に係る四半期包括利益	5,221	7,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34,764	18,520
減価償却費	48,720	45,746
のれん償却額	2,753	1,251
減損損失	779	11,451
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,884	△964
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△31,727	2,359
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	426	△298
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△4,323	△3,775
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△353	△3,069
受取利息及び受取配当金	△1,601	△1,944
支払利息	5,816	5,326
持分法による投資損益 (△は益)	△5,053	△5,468
投資有価証券売却損益 (△は益)	△58	△20
投資有価証券評価損益 (△は益)	80	1,028
有形固定資産除却損	885	500
固定資産売却損益 (△は益)	△243	△2,140
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,162	7,535
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,853	△28,735
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,299	△6,426
その他	△12,467	3,560
小計	55,566	44,437
利息及び配当金の受取額	3,899	5,497
利息の支払額	△5,612	△5,151
法人税等の支払額	△13,478	△9,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,375	35,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,308	△25,975
有形固定資産の売却による収入	2,697	3,059
無形固定資産の取得による支出	△658	△1,389
長期前払費用の取得による支出	△637	△451
投資有価証券の取得による支出	△456	△6,479
投資有価証券の売却及び償還による収入	844	283
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,586
その他	△2,804	1,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,322	△32,450

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	209	△8,253
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△1,000	△1,600
長期借入れによる収入	3,951	4,996
長期借入金の返済による支出	△12,156	△11,082
社債の発行による収入	10,000	10,000
社債の償還による支出	△10,011	△11,000
少数株主からの払込みによる収入	44	—
自己株式の売却による収入	35	11
自己株式の取得による支出	△115	△38
配当金の支払額	△6,014	△6,011
少数株主への配当金の支払額	△2,170	△5,310
その他	△98	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,325	△28,401
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△981	△1,118
現金及び現金同等物の期首残高	72,962	81,119
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△15
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,709	54,630

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	計		
売上高									
外部顧客への売上高	320,879	314,178	109,861	78,515	100,038	82,911	1,006,382	14,165	1,020,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92,273	19,430	3,093	11,849	225	3,843	130,713	38,327	169,040
計	413,152	333,608	112,954	90,364	100,263	86,754	1,137,095	52,492	1,189,587
セグメント利益又は セグメント損失(△)	9,818	12,265	△5,963	6,054	1,686	4,904	28,764	17	28,781

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	28,764
「その他」の区分の利益	17
セグメント間取引消去	185
全社費用(注)	△2,077
四半期連結損益計算書の営業利益	26,889

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない戦略研究開発等に係る研究開発費等であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	計		
売上高									
外部顧客への売上高	340,595	374,175	97,730	85,615	102,912	85,427	1,086,454	13,562	1,100,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	104,055	20,106	3,398	10,749	62	4,357	142,727	44,071	186,798
計	444,650	394,281	101,128	96,364	102,974	89,784	1,229,181	57,633	1,286,814
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,243	17,163	△11,262	6,953	1,818	6,356	29,271	△574	28,697

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	29,271
「その他」の区分の損失（△）	△574
セグメント間取引消去	92
全社費用（注）	△1,213
四半期連結損益計算書の営業利益	27,576

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ウレタン」セグメントにおいて、ポリウレタン材料事業は、TDI・MDI市況の低迷や円高により、厳しい事業環境が継続しております。更なる需要の低下を受け、当第3四半期連結会計期間に改めて当該事業に供している固定資産について回収可能価額を算定した結果、帳簿価額を下回る見込みとなったため、減損処理をいたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、11,415百万円であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。